

地域リハOT 便り vol.5

令和 2年

12月

地域リハビリテーション部では、地域に貢献に向け、行政や各種団体からの依頼（講師や委員など）に対応できるよう、各市町に担当部員を配置し、連絡、調整を行っています。

地域リハOT便りを通じて、地域で活躍する各市町の作業療法士の取り組みを紹介します。

今回は、鈴鹿市での取り組みについて、紹介します。

鈴鹿市のOT活動（鈴鹿市副担当：長太の寄合所「くじら」 佐野佑樹）

鈴鹿市には急性期から生活期、精神科病院、また地域包括支援センターで活躍しているOTがいます。鈴鹿市のOTの地域リハビリテーションとしては、認知症の人の支援に向けて、認知症初期集中支援チームや認知症カフェの運営（図1）、医療や介護のはなしができるカフェ団体の運営（図2）、多世代・多業種と協働した認知症カフェ啓発イベント、オレンジフェスティバルの開催（図3）、鈴鹿地区つどい（図4）など精力的に活動しています。



D - カフェ

認知症をもつ人や家族、地域住民、医療や介護の専門職など、誰もが気軽に集い、仲間づくりや情報交換ができる地域の居場所です。

【日時】 毎月第3日曜日（2月はお休み）
13:00～15:00

【場所】 長太の寄合所「くじら」（岐阜市長太町6-3-9）
【連絡先】 TEL: 059-395-1212

【3つのイベント】

- 13:30～北さんの認知症講話
- 13:30～作業療法士による健康測定会
- 14:30～昭和の遊びや歌
ミュージックベル など

好きな場所で、自由に過ごすことができます！出入りも自由です。

図1. 認知症カフェ（D-カフェ）



医療や介護のはなしができるカフェ

登録場所

開催中

「医療や介護のはなしができるカフェ」は、認知症の人やその家族、地域住民、専門職等の誰もが気軽に集える居場所です。

鈴鹿市

図2. 医療や介護のはなしができるカフェ




オレンジフェスティバル

出会い・つながり・多世代交流・教育・協働



「鈴鹿地区つどい」

同じ悩みを持つ家族同士、悩み相談や情報交換を行うことができます。

家族による 家族のための 介護家族のつどい

～認知症の人も家族も みんなが笑顔で暮らせるために～

「助けあひなす」「いつか家族でいぬい」
「それができる人って、いる？」「……これ、どうしたらいいの？」……

悩み相談や情報交換など、同じような体験を持つ家族同士が知恵と心をつないで、一緒に乗り越えていきましょう。お誘いも歓迎です。ぜひ一度、お気軽に参加して下さい。

※つながれば 希望が見えてくる

※日程：4月10日/5月8日/6月12日/7月10日/8月14日
9月11日/10月9日/11月13日/12月11日
2020年1月8日/2月12日/3月11日

※時間：13:30～15:30（岐阜市長太町6-3-9）

※会場：牧田コミュニティセンター（岐阜市長太町6-3-9）

※参加費：2,000円（お茶・お水・お菓子）/「家族の会」参加費1,000円

※申し込み：不要です。参加の意思のある方はお申し込み不要です。

※参加費は個人負担となります。参加費は参加費にのみ使われます。

＜お問い合わせ先＞
岐阜県社会福祉協議会 認知症対策推進課
岐阜県社会福祉協議会 事務局
電話/FAX: 059-370-8820

地域ケア会議に出席しているOTはいませんが、サロンや個別ケースの相談会から地域課題を見つけ出し、行政に働きかけるなどの役割を通して地域貢献を目指しています。

これからも作業療法士の視点で、鈴鹿市の方々が元気になれる、心と幸せを感じることができる時間や場をつくっていきたいと思います。